

JAERA

NEWS LETTER

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 ニュースレター

□巻頭言 / 2019 年台風 19 号の教訓を生かし、新たな災害に備える… P1 □エコプロ 2019 … P2

□2020 年自動車工業団体新春賀詞交歓会 … P3 □第 9 回自動車リサイクル 4 団体意見交換会 … P3

□改正フロン排出抑制法 … P4 □鉄スクラップ最新情報 … P5 □行事予定・お知らせ / 編集後記 … P6

vol.131

2019 年台風 19 号の教訓を生かし、 新たな災害に備える

01

地球環境の変化により毎年の様に発生している自然災害に対応するため、これらを教訓に今後の対応の在り方・進め方について協議を始めております。機構会員の皆さまで被害を受けた方も多く、皆さまからの意見・要望を集約し対応策に取り組んでおります。

さて、昨年の台風 19 号による被災車両に関する調査を促進センターの呼びかけ並びに(株)エコアル様の協力のもと、経産省、環境省、JARP などの関係者総勢 19 名にて実施いたしました。

【被災車両の状況及びその主な課題】

①引取時シフトロック、ステアリングロックが電気式のため解除できない車が増えていて積み込み作業が非常に困難。

②保険対応の車両は預かり期間が発生して、場合によっては保管ヤード手配が必要になり費用がかかる。

③保険対応の車両が一斉に使用済みになり、短い期間での処理を求められる。

④車両を敷地内に詰め込まざるを得ないため、奥の車両を出して作業することに時間がかかり、規定の保管期間では対応できない。

⑤泥、ガレキの混入。

⑥車体の水没により、エンジンなどへの浸水がありダメージを受けたもの車室内の腐臭、カビ、サビなど作業性の悪さだけではなく健康への影響も懸念。

以上、
様々な状況が分かり情報の共有を図りました。

【被災車両の概観写真】



【車内】



【エンジンルーム】



巻頭言

昨今、私たちの業界でも販促や企業イメージアップに YouTube を利用するケースが目立ってきました。自動車リサイクル促進センターでは、元々「自動車リサイクル博士」というキャラクターがありますが、今月からは AKB48 のメンバーである岩立沙穂さんが参加し、歌と踊りの動画が公開されています。『くるくるダンス』を通して循環型社会の実現に向けた自動車リサイクルの大切さを広く伝えていくための動画として、今後、自動車運転免許教習所などでも放映されるとのことです。「くるくるリサイクルダンス」で検索すれば動画を御覧になれるかと思います。是非、ご参照ください。

【<https://www.youtube.com/watch?v=y38HbXHkj8Y>】

〈広報部会 小宮山 敬仁〉

《編集・発行責任者》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
広報部会長 永田 則男

《お問い合わせ先》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
〒105-0004
東京都港区新橋3丁目2番2号
TEL: 03-3519-5181
FAX: 03-3597-5171
MAIL: jaera-homepage@elv.or.jp
HP: <http://www.elv.or.jp/>

エコプロ 2019 — 持続可能な社会の実現に向けて

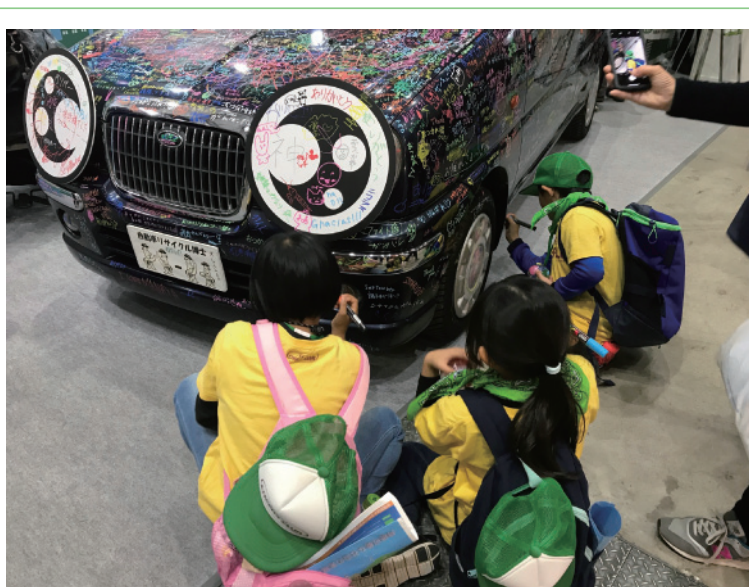
「エコプロ 2019」が東京ビックサイトで 2019 年 12 月 5 日（木）～ 7 日（土）まで開催され、期間中約 15 万人が来場されました。

自動車リサイクル促進センターは、毎年自動車リサイクルのブースを出展し、資源循環の大切さを伝える活動をしております。今年は、子供たちに自動車リサイクルの大切さと廃車となった自動車への感謝を含め、子供たちがメッセージを送るという「子どもメッセージカー」企画を実施しました。

また、2020 年 1 月 17 日（金）京葉自動車工業株式会社更科工場にて、「子どもメッセージカー返還式典」が執り行われました。

エコプロ 2019 にてたくさんのメッセージが書き込まれた、クルマのリサイクル次の 100 年のために「子どもメッセージカー」が同社に返還されました。

自動車リサイクル促進センター阿部専務理事は「子どもたちからのメッセージには、将来の地球環境、資源循環、リサイクルの大切さを綴ったメッセージや、これまで一生懸命に頑張って働いてきた車への感謝の気持ちなど、一つ一つ、すべてに子どもたちの想いが詰まっております」と話され、子供たちから頂いた大切なメッセージをお届けさせていただきますとの挨拶と「子どもたちからのメッセージパネル」が代表取締役社長の酒井康雄様に贈呈されました。



【未来に向けて、子供たちからのメッセージ】

日本自動車リサイクル機構は、廃車予定の自動車「子どもメッセージカー」を提供。この期間中、多くの子供たちから 1,500 を超えるメッセージが寄せられました。



詳細情報はこちらからもご覧頂けます

自動車リサイクル促進センター <https://www.jarc.or.jp/>

自動車工業団体の新春賀詞交歓会

自動車工業団体の新春賀詞交歓会が1月7日(火) ホテルオークラ東京(東京都港区)にて開催され、団体や企業のトップのほか、関係省庁の来賓が出席され、令和の新年を祝われました。日本自動車リサイクル機構も酒井代表他で出席いたしました。

4団体を代表して自動車工業会の神子柴寿昭副会長から挨拶があり、東京モーターショウに約130万人が来場されたこと、年末に閣議決定された補正予算案に「サポカー補助金」が盛り込まれたことに感謝の意をのべられるなど、交通事故ゼロの実現に向け自動車業界全体が「ONE TEAM」となっており、取り組まれる決意が示されました。



4 法人意見交換会

04

第9回自動車リサイクル4団体意見交換会

1月15日(水) 日本自動車リサイクル機構会議室にて開催いたしました。

当日の議題は、機構本部より①ASR処理の現状と課題、②エアバックネット販売の対応策について、③2020年度自動車リサイクル士認定講習会について説明を行い、各団体より様々な意見やアドバイスをいただきました。

その後、各団体の近況報告があり、自工会からは、リサイクル法改正の対応、プラ・ガラス再資源化、リチウムバッテリー回収などの取り組み、促進センターからは、大規模災害時の行政サイドのマニュアル作成、ASR実態調査、エコプロなどの広報活動の報告、自再協からは、フロン類の回収・再資源化施設の変更、エアバック作動処理防護シート販売などの説明がありました。今後も4団体との連携を継続し、自動車リサイクル業界の改善・発展に向け取り組んでまいります。



フロン類の回収等が確認できない第一種特定製品の引取り等は禁止されました。(法第 45 条の 2)

機器廃棄時のフロン回収率向上のため、関係者が相互に確認・連携し、ユーザーによる機器の廃棄時のフロン類の回収が確実にされる仕組みへ。

【機器が引き取られる際の取組】

廃棄物・リサイクル業者等が機器の引取り時にフロン回収済み証明を確認し、確認できない機器の引取り禁止。

※廃棄物・リサイクル業者等が充填回収業者としてフロン回収を行う場合などは除く。

【自動車で第一種特定製品に該当するものについて】

運搬部門：冷凍車の貨物室、大型特殊自動車、小型特殊自動車・被牽引車のカーエアコン

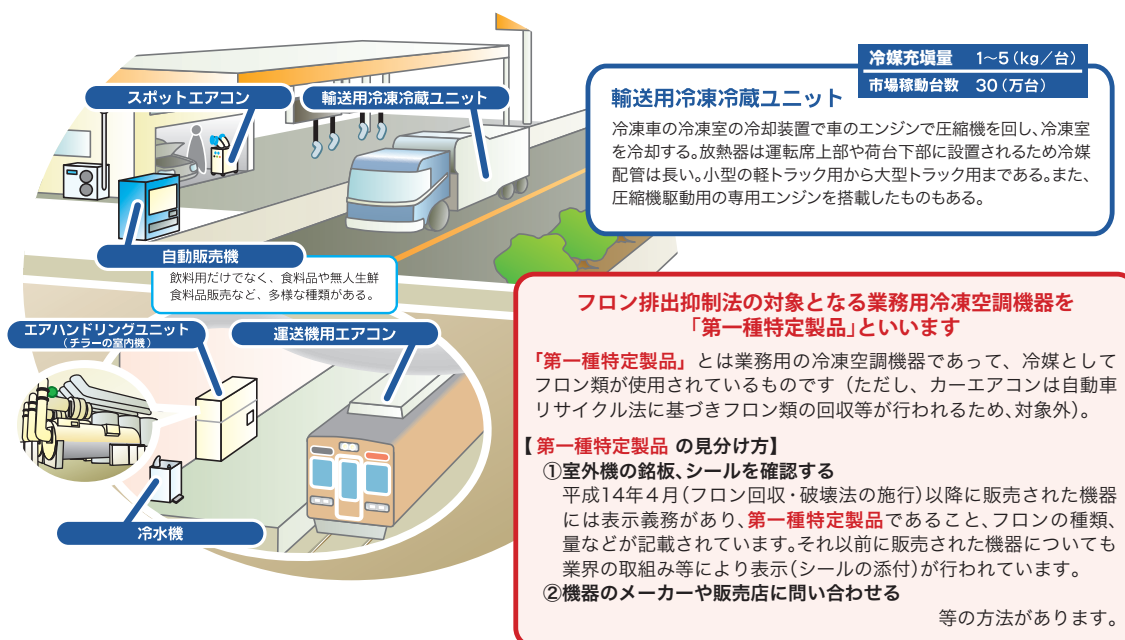
【改正点】

廃棄物・リサイクル業者の責務

◇具体的には、以下のケースで引取りが可能です。

- ①「引取証明書」の写しを受け取った場合。
- ②自らフロン類を回収する場合。なお、管理者からの「回収依頼書」が必要である。
- ③充填回収業者へのフロン類の引渡しを委託された場合。なお、管理者からの「委託確認書」の交付を受ける必要がある。
- ④フロン類が充填されていないことを示す「確認証明書」の写しを受け取った場合。

※第一種特定製品引取等実施者は、当該写しを 3 年間保存する必要があります。



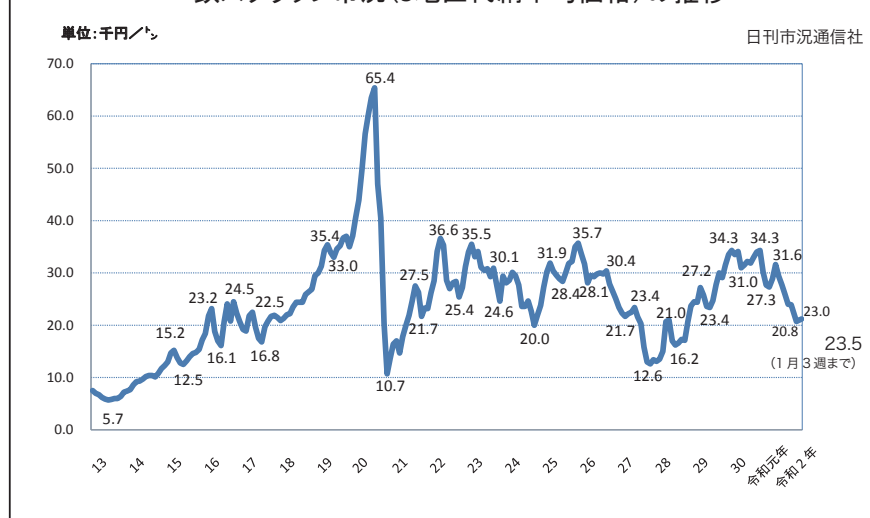
※違反して引取等を行った場合は、直罰の対象となります。50 万円以下の罰金が科せられます。また、都道府県の指導監督（報告徴収、立入検査等）の対象となる。

詳細は、下記 URL より「フロン排出抑制法ポータルサイト」を参照ください。

<http://www.env.go.jp/earth/furon/gaiyo/sanko.html>

1 月第 4 週 (24日) の鉄スクラップ動向

鉄スクラップ市況 (5地区代納平均価格) の推移



1 月 24 日の国内スクラップ炉前実勢価格 (中心値)

		H2	気配
関東	北関東	24,500 ~ 25,000	弱含み様子見
	南関東	24,500 ~ 25,000	弱含み様子見
名古屋		23,500 ~ 24,500	弱含み様子見
関西	大阪	24,000 ~ 25,500	弱含み様子見
	姫路	24,000 ~ 25,000	弱含み様子見

粗鋼生産、10 年ぶり 1 億ト下回る 2019 暦年は 9928 万 4 千ト

日本鉄鋼連盟が 1 月 23 日に発表した国内粗鋼生産速報によると、2019 暦年の日本の粗鋼生産量は前年比 4.8% 減の 9928 万 3700 トだった。2009 暦年の 8753 万 4100 ト以来、10 年ぶりに 1 億トを下回った。五輪特需などの落ち着きから鋼材需要が縮小した影響もあるとみられる。また災害による製鋼止めも生産の減少につながった。このうち電炉鋼生産は同 6.9% 減の 2430 万 1100 トと、3 年ぶりに減少した。転炉鋼は同 4.2% 減の 7498 万 2700 トで、3 年連続で前年比マイナスとなった。この結果、電炉鋼シェアは前年比 0.5 ポイント下落の 24.5% となった。

鋼種別暦年生産量は、普通鋼が同 4.0% 減の 7559 万 9900 ト、特殊鋼が同 7.5% 減の 2368 万 3900 トだった。

■ 12 月の粗鋼生産量は 778 万 4 千ト

12 月の粗鋼生産量は前月比 0.9% 増、前年同月比 8.0% 減の 778 万 3600 トだった。このうち電炉鋼生産は同 7.5% 減、同 15.1% 増の 184 万 7200 ト、転炉鋼生産は同 3.8% 増、同 5.6% 減の 593 万 6400 トだった。鋼種別では普通鋼が 599 万 3200 ト、特殊鋼が 179 万 400 トだった。

【関東地区】 電炉筋、入荷状況に応じた価格対応

関東市場の鉄スクラップ市況は概ね様子見横ばいの推移となっている。12 月中旬に電炉筋の値上げ改定が一巡してから 1 カ月強にわたって大きな変動は見られない。ただ入荷好調な筋では品種別に購入価格を値下げする動きを見せる一方で、入荷量が使用量を割り込んでいる筋もあり、こうした筋は安値修正の値上げを行った。1 月 24 日時点の関東市場の H2 炉前実勢価格は 24,500 ~ 25,000 円中心。浜値は高値解消で 24,000 ~ 24,500 円中心。

【東海地区】 域内市況は保合い気配で 1 月第 5 週に

名古屋地区の鉄スクラップ市況は、保合い気配で 1 月第 5 週に入ると見られている。既に海外市況は反動安の格好にあることから、国内市況も頭打ち感が広がっている。こうした状況から、1 月下旬に入り業者の多くに出荷を進める姿勢が目立っており、電炉各社の入荷は上向いている。また一部電炉は在庫水準が上がっており、荷止めや品種別の荷受規制も見られる。1 月 24 日時点の H2 炉前実勢価格は 23,500 ~ 24,500 円中心。

【関西地区】 依然として模様眺め、高値解消予想も

大阪地区の鉄スクラップ市況は、依然として模様眺めとなっている。東京製鉄の様子見対応に加え、電炉間の日々の入荷にバラつきが残ることで電炉各社は慎重対応を強いられている状況だ。全体的に電炉の在庫レベルが高いことに変わりはなく、海外市場も下落へ転じているため、高値が解消される予想も一部で聞かれる。1 月 24 日時点の H2 炉前実勢価格は、大阪地区が 24,000 ~ 25,500 円中心、姫路地区が 24,000 ~ 25,000 円中心。

(※ 価格、数量等は日刊市況通信社調べ、1 月 24 日午前時点のもの)

行事予定

February

ー 2月の主な行事予定ー

- 2月6日(木)
東北ブロック会議
- 2月12日(水)
第11回広報部会
- 2月14日(金)
近畿ブロック会議・合同新年会
- 2月15日(土)
九州ブロック会議
- 2月21日(金)
沖縄ブロック会議
- 2月27日(木)
第9回常任役員会
第2回理事会

お知らせ

機構会員の皆さまへ

自動車リサイクル促進センター、資金管理センターより「リサイクル券の電子化検討に関するアンケートへの協力依頼」がありました。

目的は、リサイクル券発行業務の実態把握、業務効率化の状況及びシステム改善要望の把握です。皆さまからの改善要望が今後の業務等の利便性向上に繋がることです。

機構本部よりアンケートをFAX致しますので、多くの回答をいただきますようご協力お願い申し上げます。

【主なアンケート内容】

- (1) 自動車リサイクルシステムに関する改善要望等
- (2) 預託確認及びリサイクル券の取り扱い

【回答方法】

記入済アンケートは、下記お問合せ窓口のFAX番号もしくはEメールアドレスへ返信お願いします。

【回答期限】2020年3月19日(木)まで

【お問合せ窓口】

自動車リサイクル促進センター 資金管理センター 業務課(担当 中山、宇野)

編集後記

昨年の大型台風19号の災害は、多くの人々に災いをもたらし、また、我々自動車リサイクル業界にも多くの問題を投げかけました。被災地域が広範囲ということもあって、被災車両の撤去には相当の時間と費用を要しました。また、その後の処理も泥や瓦礫の混入等で苦労をされたようです。業者の費用負担や車両以外の廃棄物処理等々の問題は、今後も自然災害が発生したときには確実に起こりうる問題です。今号では台風被害に遭った車両の調査が関係者合同で行われたことを記事にしておりますが、浮き彫りとなった問題や課題の早期取り組みに期待したいところです。

恒例となりました4法人の意見交換会も1月15日に行われました(ちなみに今年は、我が広報部会も参加しました!)。違法エアバッグのネット販売が議題に取り上げられましたが、一筋縄ではいかないのが実状のようです。

しかし、どんなことも、真面目な者が馬鹿を見るようでは業界の秩序が保てません。重たい課題ばかり山積していますが、逡巡することなく、本年は理想を貫く行動力を持ちたいものです。

(広報部会 部会長 永田 則男)